



umango

サンプルドキュメントと AI フィールド説明書

目次

目次	2
サンプルドキュメントと AI フィールド	3
1. サンプルドキュメントをアップロード	4
2. ドキュメントの AI フィールド	6

サンプルドキュメントと AI フィールド

ゾーンとサンプルドキュメント構成は、Umango で取得する OCR 情報を指定するための設定です。Umango の参照としてサンプルドキュメントをアップロードした後、OCR を使用してドキュメント内の情報を取得するために、Umango には以下に示す 2 つのオプションがあります。

- 1. ドキュメントの AI フィールド:** Umango は人工知能を使用して文書の種類を検出し、人工知能を使用して文書内の情報を自動的に取得します。
- 2. ゾーン:** ドキュメント内のエリアを手動で設定し、そのエリア内のデータを Umango が取得します。必要な数だけエリアを設定できます。ゾーン設定の詳細については、「4.2 処理のゾーン説明書」を参照してください。

ドキュメントの AI フィールドとゾーン機能を同時に使用できます。ドキュメントの AI フィールドを使用すると、日本語テキストの情報を取得するのに時間がかかり、精度が低くなる可能性があります。必要がない場合は、「ゾーン」機能を使用して情報を取得することを推奨します。

1. サンプルドキュメントをアップロード

Umango がドキュメントから情報を取得する前に、Umango の参照としてサンプルドキュメントをいくつか提供する必要があります。プロセス設定中にドキュメントをアップロードすることで、Umango にドキュメントを提供できます。バッチの分離やバッチのグローバル情報に使用できるドキュメントのカバーシートをアップロードすることもできます。バッチ分離の詳細については、「バッチ分離説明書」を参照してください。

提供するドキュメントが多いほど、Umango はドキュメントから情報を取得する精度が高くなります。サンプルドキュメントをアップロードするには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ゾーン」タブをクリックしてください。



ゾーン構成へのアクセス

2. ドキュメントをその領域にドラッグアンドドロップするか、その領域をクリックしてドキュメントを選択してください。



サンプルドキュメントのアップロード

3. サンプルドキュメントをさらに追加するには、「サンプルドキュメントボタン」をクリックしてください。



さらにサンプルをアップロードボタン

4. カバーシートをアップロードするか、サンプルドキュメントをアップロードするには、いずれかのボタンをクリックしてください。



カバーシートまたはサンプルドキュメントをアップロード

- カバーシート: Umango が複数のバッチ処理を実行する場合に、各バッチを分離するために使用できます。カバー シートの情報は、バッチ内のすべてのドキュメントで使用できます。

5. 手順 2 をやり直してドキュメントをアップロードしてください。

2. ドキュメントの AI フィールド

このセクションに進む前に、少なくとも 1 つのサンプルドキュメントをアップロードしたことを確認してください。AI フィールドはサンプル ドキュメントにのみ使用でき、カバーシートには使用できません。

Umango は人工知能を使用して、文書の種類と文書内の情報の場所を自動的に検出します。人工知能を利用して情報を取得するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ゾーン」タブをクリックしてください。



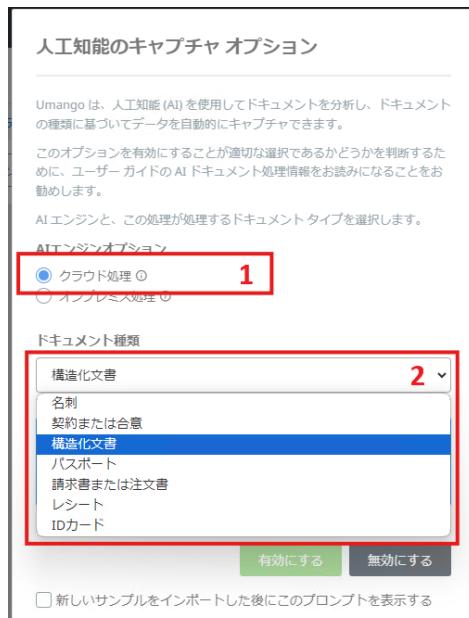
ゾーン構成へのアクセス

2. 「AI フィールドを有効にする」ボタンをクリックしてください。



「AI フィールドを有効にする」ボタン

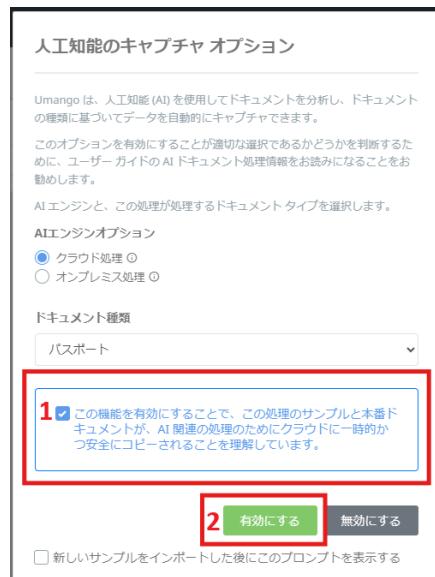
3. エンジンオプションで「クラウド処理(1)」を選択し、「ドキュメントタイプ(2)」を選択してください。



AI エンジンの選択

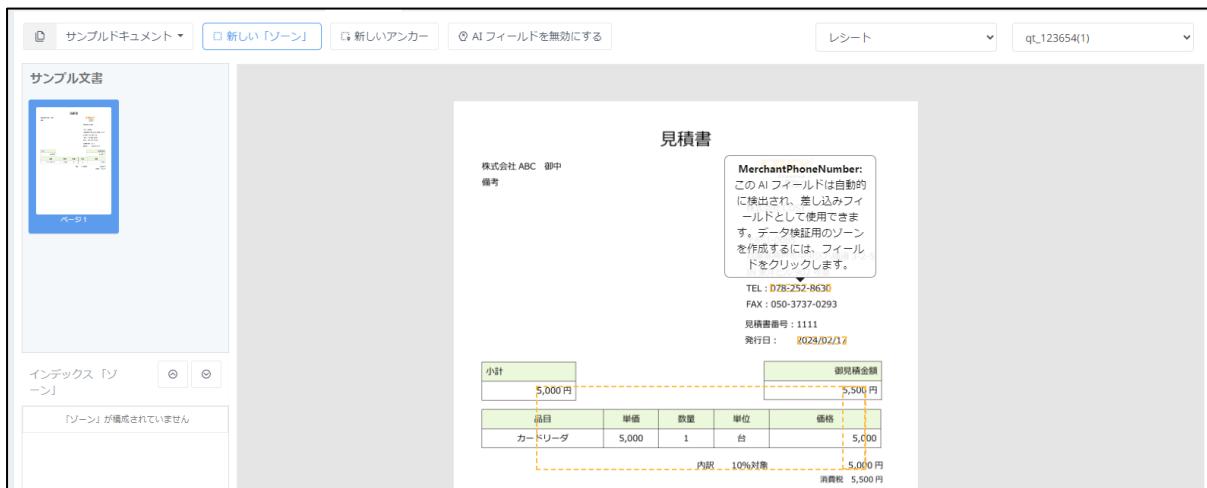
※「オンプレミス処理」を選択した場合、サポートされる文書タイプは「構造化文書」のみとなり、精度が低くなります。

4. クラウド AI の利用規約を確認し、「有効にする」ボタンをクリックしてください。



クラウド AI の利用規約

5. より正確なデータを取得したい場合は、AI によって検出された領域（オレンジ色の破線）をクリックしてゾーンを作成してください。



AI が検出したデータのフィールド

6. ゾーン設定の詳細については、「処理のゾーン説明書」を参照してください。